



保健・健康だより 12月臨時号

吉美こども園令和3年12月14発行

12月に入り、土曜日の第1週目から生活発表会が始まりました。先日で乳児クラスが終わって、今週はいよいよ幼児クラスの発表会です！

さて、先月まで綾部市内や福知山市内で流行していた手足口病が、吉美こども園にも入ってきました。もも組やいちご組に流行の兆しが見られます。手足口病は夏風邪の一種ですが、流行は季節を問わずはやり始めたら広がります。人によって、症状が軽かったり、高熱が出て、重い症状だったりします。手足や口に小さな水をもった発疹や赤い湿疹が見られましたら、医療機関を受診してください。下記に手足口病の病気について紹介します。

手足口病

乳幼児の間で流行するウイルス性の一種で、飛沫感染します。

手足や口の中に水ほうや赤い湿疹が出るのが特徴で、ひざやお尻に出ることもあります。

症状は3～5日で治まりますが、その後も2～4週間は便からウイルスが出るので、周囲の人に感染しないように注意しましょう！

ウイルス性のかぜのため抗生物質は無効で、自宅療養での自然治癒を待ちますが、発熱や嘔吐がある場合は、症状を緩和する薬を医師に処方してもらいましょう。高熱を出しているお子さまも複数おられます。

口の中に水ほうが出ている間、お子さまに食欲がなければ、水分補給さえしっかり行えば大丈夫です。食欲があるようなら、スープなど、のど越しの良いものを与えてみましょう。

登園のめやすは熱がなく、食欲があれば大丈夫です。

感染性の胃腸炎も引き続き注意しましょう。お子さまの体調に異変を感じたら、早めに医療機関を受診してください。しっかり治す方がその後も、元気に過ごせます。

忙しい年末ですが、健康に気をつけて、ご家族そろって新しい年をお迎えください。来年もよろしく願いいたします。

